

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年4月26日(2012.4.26)

【公開番号】特開2011-103566(P2011-103566A)

【公開日】平成23年5月26日(2011.5.26)

【年通号数】公開・登録公報2011-021

【出願番号】特願2009-257722(P2009-257722)

【国際特許分類】

H 04 L 12/66 (2006.01)

【F I】

H 04 L 12/66 E

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月9日(2012.3.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

まず、図1を参照して、ゲートウェイ装置200が適用されるネットワークシステム500を説明する。図1において、ネットワークシステム500は、LAN102に接続された複数台の端末100と、LAN102とWAN103を接続するゲートウェイ装置200と、WAN103に接続されたコンテンツサーバ300とから構成される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

図2Bにおいて、ゲートウェイ装置200は、パケット108-1を受信するとWAN103に属するコンテンツサーバ300に転送するために、Src IP(送信元IPアドレス)192.168.1.10をゲートウェイ装置200のWAN側I/F(interior face)のIPアドレス2.2.2.2(113-4)に変換する。併せて、Src Port(送信元ポート番号)6001もゲートウェイ装置200が確保したポート番号40001に変換する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

図6を参照して、ゲートウェイ処理(S406)の内容について、説明する。RTSP-ALG処理部206は、まず転送方向を判別する(S501)。上り方向の場合、RTSP-ALG処理部206は、SETUPメッセージ中から要求ポートの桁数を読み取る(S502)。RTSP-ALG処理部206は、同じ桁数のポート番号を割り当てる(S503)。RTSP-ALG処理部206は、次に割り当てたポート番号と送信元アドレス、送信元ポート番号、変換アドレスを組にして、NAPTテーブル220にエントリする。最後に、RTSP-ALG処理部206は、割り当てたポート番号でメッセージを書

き換える（S505）。一方、ステップ501で下り方向の場合、RTSP-ALG処理部206は、NAPTテーブル220を検索参照して（S506）、ステップ505に遷移する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

図8A、図8Bおよび図9A、図9Bを参照して、書き換えるメッセージの内容について、説明する。図8A(a)は、端末100-1が送信したSETUPメソッドのメッセージ108A-1である。一方、図8A(b)は、ゲートウェイ200が送信したSETUPメソッドのメッセージ108A-2である。図8Aにおいて、SETUPメソッドかは、ペイロードの先頭に「SETUP」の文字列の有無で判別可能である。このメッセージのペイロードの「client\_port =」に続く数値（-で区切られる場合は範囲を示す）が RTP, RTCPで用いる端末側100-1の送信元ポート番号を示している。ゲートウェイ200は、このポート番号の桁を取得して、同じ桁の変換ポート番号を割当、メッセージを図8A(b)に書き換える。

【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

